

# キラキラと輝きつづける アイドル「丸山夏鈴」

福島中央テレビマンたちが追いかけた丸山夏鈴さんの最後の半年

「アイドルが死ぬときって、完全に忘れ去られたときだと思う」こう言い残して21歳で亡くなった夏鈴さんは、東京アイドルフェスティバルで魅了した。彼女は、ファンの心のなかで、永遠にキラキラと生き続ける。撮影・文: 溝辺奈菜 撮影・小林千紗

福島中央テレビのディレ 県郡山市のビックパレット クター円谷さんが、最初に ふくしまでのご当地アイドルイベントだった。彼女を見かけたのは、福島



左: 妹ゆかさんと母まち子さん。右: 盛り上がる東京アイドルフェスティバル・ミスiDスペシャルステージ。

寂そうにしていた少女がいた。「なんでこんなに寂しそうなんだろう」。それがアイドル丸山夏鈴さんだった。

福島中央テレビのディレクター円谷さんと皆川さんによる密着取材は2014年11月から始まった。癌による入院を繰り返していた夏鈴さんへの取材は、いつもなら二人が行っていた。たまたま、二人が行け



福島中央テレビ・プロデューサー藤田朝さん。夏鈴さんの最後の半年を追ったドキュメンタリー番組を制作している。

ず、藤田さんが彼女の入院していた病院へ取材に行っ

行った。

たという。カメラを回し続けていくうちに「どうしてこんなに笑顔でいられるんだろう」と疑問がわいてきた。そのときからアイドルとしての「丸山夏鈴」ではなく、一人の人間「丸山夏鈴」としての魅力に藤田さんはひかれていった。藤田さん、皆川さん、円谷さんの3人のテレビマンが彼女を心身ともに支えていくことになった。

1stシングル「Renal Summer」は病気のこともあり、CD化が遅れていた。そこで話題作りのために、藤田さんもMV制作に協力した。アイドルらしい可愛らしさがたっぷり話まった曲である。夏鈴さん自身も素材を提供し、編集も行った。自分のパソコンを持参して、藤田さんと意見を言い合いながら編集を

シャルステージがあった。夏鈴さんとプリントされたTシャツを着たファンが客席を埋め尽くした。彼女の母丸山まち子さん、妹ゆかさんの姿もあった。

「Renal Summer」をゆかりのアイドル達が歌い、最高の盛り上がりを見せた。ステージで彼女はキラキラと輝き続けている。まち子さんは「夏鈴ちゃんよく頑張りました。ありがとうございます」と何度も言葉にしていた。ゆかさんも「本人も喜んでいいます。お誕生日おめでとう」と笑顔を見せている。3人のテレビマンやファンに支えられ、夢だったこの東京アイドルフェスティバルのステージに夏鈴さんは立った。

藤田さんはこの日もカメラを手に取材をしていた。「丸山夏鈴」を追いかけて続けた半年間、「人の人生にどこまで踏み込んでいいのか」取材を続ける中で葛藤もあった。だが、カメラを回すことはやめなかった。この日、夢を叶えた夏鈴さんを見届けた。藤田さんは湧き上がる観客の中で、涙を流していた。